

区議会でシェイクアウト訓練

10日、杉並区議会では新年度予算の審議を中断し、初めての試みとして区議会議員や区長をはじめとした区職員が参加したシェイクアウト訓練を実施しました。シェイクアウト訓練は、あらかじめ決められた時刻に、参加者全員が机の下などに隠れ、その場で身の安全を守る行動を取る訓練です。区内では、区議会以外にもおよそ270団体・3万5千人が参加しました。

シェイクアウト訓練は、東日本大震災からの翌年から毎年行っているもので、今年で5回目となります。これまでは、地震発生日の3月11日に行って来ました。しかし、今年は11日が土曜日になったので、学校や事業所、区役所などで訓練に参加しやすくするため、今年は3月10日の金曜日に実施することとしました。

また、例年3月11日は、区議会を休会して東日本大震災の犠牲者への追悼を表すとともに、首都直下地震への備えにつなげることを目的に、記念式典を開催して来ました。今年も、11日が土曜日ということで区議会を休会することにならなかったことで、シェイクアウト訓練が区議会と重なることになりました。そこで、初めて区議会のその場にいた全員が参加してのシェイクアウト訓練となりました。

午前11時、予算特別委員会の審議中だった区議会委員会室にも、庁内放送から緊急地震速報が流れました。区内で震度6強の地震が発生し、大きな揺れに襲われたとの想定です。区議会議員47名と区長をはじめとした区職員80名ほどが、それぞれが姿勢を低くし、新年度予算書で頭を覆ったり、机の下に隠れるなどして、揺れが収まるまでの時間、頭や体を守る訓練に参加しました。



予算特別委員会委員長の浅井くにお区議は、「訓練をやってみて身近な物を活用することで、自分自身を守れることを改めて実感しました。」と話しました。6年前の平成23年3月11日も、本日と同様、区議会で予算の審議などが行われていました。

【報道機関 問い合わせ先】

危機管理室防災課：TEL：3312-2111（内線）3601